



Upsee

アップシー 取扱説明書



家族の自由

日本語

アップシーは、運動機能に障がいのあるお子さまが、大人の助けを借りて、立ったり動いたりできるように設計されたモビリティハーネスです。特別な支援を必要とする子供たちも、他の子供たちと同じように直立運動を体験することができます。

Upsee（アップシー）をご使用になる前に必ず取扱い説明書をお読みください。すべての説明は、ビデオ、図とFAQとともにウェブサイト www.fireflyfriends.com/upsee でもご覧いただけます。

もくじ

01	使用目的	p.04
02	適合宣言	p.04
03	警告および注意事項	p.05
04	保証条件	p.06
05	安全に関する情報	p.07
06	洗浄とお手入れ	p.08
07	日々の製品点検とサービス	p.09
08	Firefly製品の再使用	p.09
09	製品サービス	p.10
	9.1 評価と処方、使用上の注意と 禁忌事項	
	9.2 アップシーの装着	
	9.3 アップシーのはずし方	
	9.4 アップシーの使い方	
10	サイズ情報	p.19
11	記号一覧表	p.21
12	よくある質問 FAQ	p.22

セクション 01: 使用用途

使用目的

アップシーは、運動機能障がいのあるお子さまが、大人の助けを借りて立ったり動いたりできるように設計された起立移動機器です。

使用上の注意

アップシーは、自立して立ったり歩いたりすることが難しい約1歳～8歳までのお子さまのために、大人が介助することで立ったり歩いたりすることができる起立移動機器です。アップシーは、大人と子供がぴったりとくっつくデバイスです。子供の肩が大人のへそより下に位置し、まっすぐ立つことができ、すでに起立／歩行プログラムを行っている必要があります。

アップシーは3つのパーツに分かれます：
大人用ヒップベルト (ワンサイズ) 60.96 ～ 106.68cm、共通サンダル (2 サイズ
子供用ベルトによって割り当てられます。)
子供用ベルト (4サイズ XS、S、M、L)
耐荷重は、XS-15kg、S-15kg、
M-20kg、L-25kgです。

本製品を安全にお使いいただくために、大人のユーザーは毎日の製品点検（本取扱説明書セクション7に従って）を行っていただくことをお勧めします。販売元 James Leckey Design Ltd 及び日本総代理店：サンライズメディカルジャパンは、正しく安全に取り扱われなかったものに関して一切の責任を負いません。質問等がありましたら、サンライズメディカルジャパンまでお問合せください。

セクション 02: 適合宣言

アップシーはEUおよび英国の規制でクラス I医療機器に分類されています。James Leckey Design Ltd は、唯一の製造責任者として以下のことを宣言します。Firefly アップシーは、93/42/EECガイドライン、医療機器規則2017、英国医療機器規則2002 およびEN 12182身体障害者用補助具および試験方法の要件に適合しています。

利用者及び／又は患者への通知：機器に関連して発生したいかなる重大な事故も、製造業者および使用者または患者が居住する加盟国の所轄官庁に報告されなければなりません。

注意：

一般ユーザーへのアドバイス

これらの指示に従わない場合、身体への傷害、製品の損傷、または環境破壊につながる可能性があります。

セクション 03: 警告および注意事項

警告と転倒の危険性

- 子供の身長が製品に対して高すぎるか、動きが不規則であることが原因によるもの。

転倒注意

- 5度以上の傾斜面や 凹凸のある場所では絶対に使用しないでください。

警告 筋肉疲労

- 腰痛、運動障害、バランス障害、またはアップシーの使用によって悪化する可能性のあるその他の健康上の問題を持っている大人は、本製品を使用しないでください。
- 大人用ヒップベルトが正しく装着されていない、または子供の体重がかかっていないことが原因。

警告 利用者の安全性

- 利用者の製品への移乗は、適切な機器と人員で行うこと。
- ベスト、サンダル、ショルダーストラップ、ベルトがしっかりと装着されていることを確認してください。
- 使用者が何らかの不快感を示した場合、安全に可能な限り速やかに製品をはずしてください。

- この機器を使用中はいかなる時も使用者を 1 人にしないでください。
- 首絞めの危険を避けるため、製品の使用中および移動中は、利用者の首からストラップを十分に離してください。

注意 指を挟む危険性

- 利用者が製品を使用している間、介助者は製品の調整を最小限にとどめるよう努めてください。
- 製品の組み立てや部品の位置調整を行う際は、留め具などに指を挟まないように注意してください。
- 移乗や調整の際、介助者はバックルによる指挟みのリスクを避ける必要があります。

注意 毎日のチェック

- すべての部品が確実に取り付けられ、安全に使用できることを確認してください。

注意 洗浄

- 汚れの蓄積を防ぐため、定期的に清掃してください。蓄積された汚れは、生地部品の摩耗を早め、製品の腐食を促進します。研磨剤の入っていない家庭用クリーナーと湿らせた布のみを使用し、製品に取り付けたまま流水を使用しないでください。本取扱説明書のお掃除とお手入れ方法をご覧ください。

注意 電動洗浄機/ホース

- 製品の洗浄にホースや動力洗浄機を使用しないでください。本取扱説明書の洗浄とお手入れをご覧ください。

注意 廃棄

- 本製品を地域の廃棄物処理場で処分する場合は、適切な方法で構成部品を別々に処分すること。

注意 使用開始時

- 製品がお部屋の温度に馴染むように、使用の2時間前には出しておきましょう。

セクション 04: 保証条件

海外在住のお客様：購入から12か月以内が保証期間となり、修理、交換は可能です。弊社までお問合せいただき、ケースリファレンスIDを取得し、手続きをしてください。送料はご負担となります。荷物が届いた時点で修理・交換をし、14日以内にお返しいたします。

いかなる場合においても、返品される商品が適切に梱包されていることを（できれば購入時の梱包材を使用）確認することは、お客様の責任となります。

セクション 05: 安全に関する情報

1. 使用前に取扱説明書を熟読ください。
2. 使用前にすべての構成部品がしっかり取り付けられていることをご確認ください。
3. いかなる場合もFireflyが認めた構成部品以外を用いてアップシーに改造を施して使わないでください。
4. 説明書に従っていただけなかった場合は、あなた又はあなたのお子さまに危険が及ぶ可能性があります。
5. アップシーは厳重に保管していただき、部品が破損している場合は使用しないでください。
6. 座っている間に、すべてのポジション調整を行っていただき、バックル、ベルクロ、ボタンが完全に締まっていることを確認してください。子供と起立している時はそれらの調整を一切しないでください。
7. アップシーはEN1021-1に従って火災防止条例に準拠しておりますが、裸火から遠ざけてください。
8. 本取扱説明書のセクション6に従って定期的に清掃を行ってください。研磨剤は使用しないでください。普段から手入れを行い、製品を正常な状態に保ってください。
9. アップシーの使用に関する安全性に疑問が生じた場合、及びいかなる構成部品も破損した場合は直ちに使用を止め、サンライズメディカルジャパンまでご連絡ください。
10. 大人用ベルトは股関節回りに装着されていることを確認してください。ベルトが腰回りにあるとぎっくり腰を起こすことがあります。
11. アップシー使用時にお勧めできる靴は、安全性と滑り防止を期してスニーカーがよいでしょう。ヒールのある靴、大きなブーツ、サンダルやスリッパの使用は避けてください。
12. 子供用ベルトと接続する前、および起立する前に、大人用ヒップベルトの接続用ストラップ4本が伸長されていることを確認してください。お子さまと座る前に再びストラップを緩めてください。
13. 子供がベルトに吊られてしまったり、大人の方がぎっくり腰になったり、バランスを失ったりしないよう、ストラップを締め過ぎないようにしてください。
14. 子供に怪我をさせないよう、無理に動かさないでください。

アップシーは完全に一式で使用し、個々の部品を別々に使用しないでください。子供用ベルト、大人用ヒップベルト、共通サンダルを含むキット一式はすべて一体として機能し、ユーザーの方にとって最高レベルのサポート、機能、安全性を有するように設計されています。

万一個々の部品が別々に使用された場合、お子さまの安全性について保証は致しかねます。

セクション 06: 洗浄とお手入れ

子供用ベルトと大人用ヒップベルト

ベスト部分は、ストラップ、バックル、接続部品を外してから洗濯機に入れてください。これらの外した部品は安全で子供の手の届かない場所に保管してください。

- しみは吸水布、タオルやスポンジで極力早く拭き取ってください。普通の石鹸とお湯で使ってスポンジで擦ると、普通の汚れや軽微な汚損に効果的です。しみが広がる原因になりますので生地を浸さないでください。
- 頑固なシミには殺菌成分入りの洗剤が効果的です。これらにはイソプロピルアルコールやミネラルアルコールのような安全な溶液が必要です。アップシーを使用する前に洗剤が（洗濯後）残っていないか確認してください。

- 漂白しないでください。
- 物干竿で乾燥させることをお勧めしますが、子供用ベルトと大人用ヒップベルトは低温なら乾燥機で乾かせます。
- 子供用ベルトには低温でアイロンがけもできます。
- 子供用ベルト、大人用ヒップベルトはドライクリーニングしないでください。

共通サンダル

- サンダルを拭くのは、湿った布だけを使ってください。
- サンダル底（接地面）の溝に汚れで詰まっていないか確認してください。
- ストラップのベルクロをチェックし、汚れや塵、ほこりで機能が損なわれていないことを確認してください。



サンダルは洗濯機で洗わないでください。

セクション 07: 日々の製品点検とサービス

製品を安全且つ確実にお使い頂くために、いくつかの確認をお勧めいたします。推奨する項目は下記の通りです：

- バックルと留め具がきちんと固定されているか
- ベルクロ及びベストにほころび等はないか
- すべての紐やストラップがしっかりと固定され、シミを広げる原因となる摩耗や破れの兆候がないか



もしFirefly製品の安全性に疑問がありましたら、使用を中止して、できる限り早くサンライズメディカルジャパンまでご連絡ください。

セクション 08: Firefly製品の再使用

製品を再利用する前に、以下のいずれかの方法で消毒することを推奨します：

注意：消毒・殺菌の前に、必ず最初に製品を洗淨し、蓄積した汚れを取り除いてください。

1. 可能であれば、製品表面を消毒剤で完全に覆う自動「フロッガー」消毒システムの使用をお勧めします。選んだシステムのメーカーの説明書を使用前に参照し、正確に従ってください。
2. 自動消毒システムを使用できない場合は、すべての製品表面を消毒用ウェットティッシュ、または消毒液を柔らかい布に含ませて拭き取ります。70%IPA、70%アルコール、希釈漂白剤などが適しています。選択した製品のメーカーの説明書を使用前に参照し、正確に従うこと。本製品のシート張り地および布地は、本取扱説明書のセクション07「洗淨とお手入れ」に従って、十分に洗淨してください。

製品と一緒に本取扱説明書のコピーを必ずお渡しください。Firefly 製品を安全に使用し続けられるかどうか疑問がある場合、または部品に不具合が生じた場合は、直ちに使用を中止し、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。

セクション 09: 製品サービス

すべてのFirefly製品の整備は、製品の使用に関する訓練を受けた技術的に有能な者のみが行ってください。このサービスは、製品が適切な用途に使用されていることを前提に、保証期間内であれば無料でご利用いただけます。保証期間外の場合は有償修理となります。この場合、製品をFirefly社に返送していただき、さらに検査をさせていただくことがあります。検査には、少額の輸送費をご負担いただく場合がございます。詳細は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

セクション 9.1: 評価と処方、使用上の 注意と禁忌事項

詳しくはfireflyfriends.comのビデオをご覧ください。

注意事項や症状

一緒に使用する大人と子供が安全に製品を使用するために、ご購入前に以下の3つの質問に対してすべて「はい」となることを確認してください。

1. すでに立位や歩行の訓練・リハビリを行っていますか？

アップシーを効果的に使用するためには、お子さまが立位や歩行の訓練・リハビリを行っていることが前提となります。

訓練やリハビリをおこなっていない場合、アップシーの使用は怪我などの原因につながる恐れがありますのでお勧めできません。

お子さまの状態が分からない時は、医師や理学療法士にご相談ください。

2. 子供の肩の高さは一緒に使用する大人のおへそ位置よりも低いですか？

立った時に子供の肩が大人のおへそより高い位置にあると、安全にアップシーをご使用いただけません。A

子供と大人の身長の関係はアップシーを安全快適にご使用いただくために非常に重要です。十分に身長の高い大人がいない場合は、アップシーの購入はお勧めしません。

3. 子供も一緒に使用する大人も、まっすぐに立てますか？

アップシーを使用する際に、子供も大人もまっすぐに立てることが非常に重要です。たとえば、大人の大きなお腹によって、子供の頭が前に押し出されてしまうような場合は、ご使用をお勧めできません。

子供も大人もまっすぐに立つことが不可能な（背の高さやウエストサイズなどで）場合は、バランスを失ったり、不安定な状態になるのでアップシーのご使用はお勧めできません。

3つの質問全てに「はい」の回答ができましたら、ご使用してください。もし1つでも「いいえ」がありましたら、ご使用の前に担当セラピストにご相談することを強くお勧めいたします。



禁忌 (アップシーを使用すべきでない理由):

- 子供に高い筋緊張がある
(筋肉がとても硬い)
- 子供に下肢の骨折の経験がある
(骨がもろい)
- 子供に重度の左右非対称性がある
(体の左右の違い) 股関節の脱臼を含む
- 子供に重度の下肢拘縮がある
(脚の筋肉短縮)
- 子供がアップシーを着脱する際に
不快感を示す
- 子供の病状が不安定で、治療のために
迅速な体位変換が必要
- 妊娠している女性
- 腰痛、運動障害、バランス障害をお持ち
の成人の方、またはアップシーの使用に
より悪化する可能性のあるその他の健康
上の問題をお持ちの方
- アップシー各サイズの耐荷重を超える子
供には使用できません： XS - 15kg、
スモール - 15kg、ミディアム 20Kg、
ラージ 25kg。アップシーは、この耐荷重
を超えるテストは行っていません。

すべての注意事項および禁忌事項は、
保護者または処方する臨床医の判断によ
ります。Leckey社は、リスクを最小限に抑える
ため、最初の評価、セットアップ、組み立て、
再使用にはすべて、訓練を受けた経験豊富
な臨床医が立ち会うことを推奨しています。



お子さまやご自身のアップシー
の使用能力に疑問がある場合
は、理学療法士にご相談
ください。

セクション 9.2: アップシーの装着

ステップ 1 :

大人用ヒップベルト

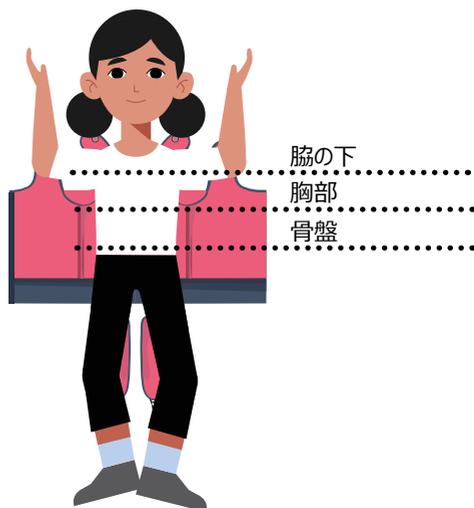
まず大人用ヒップベルトを着けます。股関節まわりに装着してください。バックサポートの三角の頂点が上を指すような向きで、ウエストより約 5 cm 下に着けてください。



ステップ 2 :

子供用ベルト

- ベストを平らな所に置き、その上に子供を仰向けに寝かせて装着する方法が一番簡単です。
- アップシーの肩と胸にあるバックルと肩にあるボタンを外して内側が表を向くように広げて置きます。
- 子供をベストの上に寝かせ、骨盤、胸、脇の下の位置をベストに合わせます。



お子さまのずり落ちを防止するために、ベルトは強く（きつく）締めてください。

! ベスト前面にある 2 本のストラップのうち、下側のストラップが正しい位置にすることが非常に重要です：

- 下側ストラップが子供の骨盤にぴったりと巻かれた状態にします。そうするにはハーネスベストの最下部を子供の脚の付け根位置に合わせます。これで、下部のストラップが骨盤の前側の骨のすぐ下に位置します **A**
- 骨盤の位置が決まったら、次に子供の腕をハーネスベストに通し、パッドを肩に合わせ、ボタンを調整しながら取り付け、最後にバックルを閉じます。

! 肩を固定する際にハーネスを引上げ過ぎて、骨盤の位置がずれてしまわないように注意してください。

- 中央のベルクロが子供にしっかりとフィットするように留め、必要に応じてストラップを締めます。特に下のストラップに注意してバックルで固定します。
- 子供の脚の間を通してレッグストラップを後から前にまわし、バックルを留めます。

! レッグストラップのパッドがきちんと子供の脚の内側の付け根に位置していることを確認してください。子供が立ち上がった際にベストがずれないように、十分にストラップを締めてください。

ステップ 3 :

共通サンダル

- 最初に大人がサンダル(大)を履いてください。

足のサイズがサンダルより小さい場合は、つま先をサンダルの先端に合わせて履いてください。足がサンダルより大きい場合は、足をサンダルの中心に合わせて履いてください。



- 3 か所あるマジックテープを使い、足を固定してください。必要であれば、付属されたエクステンション(延長ストラップ)を使用してください。
- 子供を大人の脚の間で支えて、いすに座ります。その時、子供の足は床に付いている状態です。
- 子供足をサンダル(小)に入れ、3 か所のマジックテープで足を固定してください。

アップシー使用中は、常に靴を履いてください。大人に推奨される靴はスニーカーや運動靴です。子供にもスニーカーや運動靴などつま先がある靴を履かせてください。装具を付けてアップシーを使用することは可能です。安全性の観点から、ハイヒール等かかとの高い靴、ブーツ、サンダル、スリッパ等は使用しないでください。



我々の調査では、ほとんどの方が、大人が先に共通サンダルを履く方が簡単だと答えました。しかし何人かは子供に先に履かせた方が簡単だと感じました。上記の説明では、大人が先にサンダルを履くように説明していますが、いずれの場合でも大人と子供がサンダルを履くのには練習が必要です。はじめのうちは補助してくれる人が必要な場合もあります。



ステップ 4 :

子供用ベルトと大人用ヒップベルトをつなげる

- 大人用ヒップベルトには4つのストラップバックルがあります。子供用ベストを取り付ける前にすべてのストラップを十分にゆるめておいてください。
- 最初に大人用ヒップベルトにあるグレーのストラップバックルを子供用ベスト背下部にあるグレーのストラップバックルに取りつきます。
- 次に大人用ヒップベルトにある黒のストラップバックルを子供用ベスト背上部にある黒のストラップバックルに取りつきます。

立ち上がる前に、子供用ベルトのマジックテープとボタンがすべて留まっていることを、再度確認してください。立ち上がった後での調整はお止めください。バックルやマジックテープ、ボタン等の調整が必要な時は、いったん座ってから調整してください。

立つ時はゆっくりお立ちください。

- ストラップは左右均等に引いて調整してください。片方ずつ引いても左右均等に調整すれば問題ありません。まず骨盤ストラップ（グレーのストラップ）を引いて調整します。このストラップが子供の立位での高さを決めます。次に上体がまっすぐに立ち上がるまで黒のストラップを引いて調整します。調整が終わったら、つまづき等を防ぐため余分なストラップは挟み込んでおいてください。

接続ストラップが伸びている間は、子供が前に倒れる可能性があります。

骨盤接続ストラップ（グレー）の微調整：

- 子供の骨盤が最も高い位置に来るように骨盤ストラップをきちんと締めてください。ここに子供の体重の大部分がかかることになります。接続用ストラップは体重をかける場所ではありません。正しい張り具合を見つけるには、子供の骨盤の位置を見下ろしながら調整するか、鏡を利用して姿勢を確認します。アップシーを使って歩行を開始後2～3分するとハーネスとストラップが落ち着いてきます。この時に必要に応じてストラップの調整を再度行ってください。

肩接続ストラップ（黒）の微調整：

- ショルダーストラップの使用目的は、子供の体幹が前後左右に倒れないようにすることです。子供の体重を支えるためのストラップではありません。ショルダーストラップの微調整は、ゆるめたり締めたりしながら、子供が肩から吊り下げられるのではなく、体幹がサポートされる正しい位置が見つかるまで行います。アップシーを使って歩行を開始してから、2～3分後にストラップの微調整を行ってください。

注意 - ストラップはきつく締め過ぎないでください。ショルダーストラップを締め過ぎると、子供が吊り下げられた状態になり、大人の方が腰痛を引き起こしたり、バランスを失ったりする危険性が生じます。



接続ストラップを締め終わるまで、子供を支え続ける必要があるかもしれません。

セクション 9.3: アップシーのはずし方

アップシーの取り外し方は、着けた時と逆の手順をとります。下記に記載された手順と警告をよくお読みください。

座る前に大人用ヒップベルトから出る4ヶ所の接続ストラップをゆるめてください。ゆるめずに座ると子供が不快な姿勢で後方に倒れる危険性があります。ストラップをゆるめる際は、ご自身で、または協力者に依頼して子供の姿勢を補助してください。

- 大人用ヒップベルトをはずしてください。
 - 次回の冒険のために、すべての部品を大切に保管してください。
- 子供を支えながら、ゆっくりと座ってください。
 - 子供のお尻をシートの方に誘導し、シートに「腰掛ける」ようにします。
 - 子供用ベストから4ヶ所すべての接続バックルをはずします。
(肩 グレー2か所、腰 黒2か所)
 - 最初に大人が共通サンダルから足ははずします。その後、子供の足を外します。
(子供を先に脱がせる方が簡単な場合は、それでも大丈夫です。)
 - 平らな場所に子供を寝かせてください。
 - 子供用ベストからレッグストラップのバックルをはずし、後ろにまわします。
 - 子供用ベスト前面のバックル2つとマジックテープをはずして脱がせます。



子供の腕がうまく抜けない場合は、肩のバックルとボタンをはずしてください。



製品を長持ちさせるために、子供用ベストは折りたたまずに保管してください。折りたたむと裏地に折りじわがついてしまい、支持力も低下します。



子供の体重がかかる箇所には皮膚に発赤が生じることがあります。発赤が持続したり繰り返す場合は、きつく締め過ぎている、弛み過ぎていることがあります。アップシーの装着について再検討してください。

セクション 9.4: アップシーの使い方



アップシーをご使用になる前に、全てのバックル、ボタン、マジックテープがきちんとついているか、破損等はないか、確認してください。もし、製品に破損等が見受けられましたら、ご使用を止めて、カスタマーサポートまでお電話下さい。

アップシーは、既存の起立歩行プログラムにツールとして使用することができます。子供の立ち上がろうとする意欲をわかすアップシー利用の成功の秘訣は、正しい調整をし、子供

が自分の体重を預け、新しい動きをするためのサポートを提供できるかどうかです。

大人も子供もアップシーの使い方を理解するまでに少しの時間が必要です。ですので、すぐにあなたのお子さまが使用できるようになるとは思わないでください。最初のうちは短期間しか自分の体を支えられないかもしれません。

初めてアップシーを使う際は、まずは立ち上がるだけにとください。例えば立った状態でテーブルにおもちゃを置いて取らせたり、テーブルを拭いたり、兄弟姉妹と遊ばせる等をして下さい。

子供は短期間のうちに自分の体重を支えられるようになります。もし子供がベルトにもたれかかっているだけであれば、アップシーは最大限に活用されていません。その場合は、一旦取り外してしばらくしてから再度お試しください。もしこの動作を何回か繰り返したとしても、落胆する必要はありません。慣れるまでに多少時間がかかるだけです。

子供がアップシーを使い体重をかけ、立ち上がる事ができたら、ゆっくりと左右に体重移動をしてみましょう。

子供が体重をかけられるようになったら、足を持ち上げて歩いてみましょう。もしかしたら、あなたは子供が自分で動かそうとしていることが感じられるかもしれません。もしそうなら、これらを考慮し、子供の足を必要としている方向に導いてあげましょう。アップシーを最大限に活用するためには、この過程を子供と一緒にダンスを学ぶことに例えてみるべきです。最初は二人とも少しぎこちないかもしれませんが、壁を触りながら練習するうちに自信がつかもありません。

大人の方が少し脚幅を広げると子供の足が通常の位置にきます。これで、子供の足を挟みこまなく、さらに安定性を高めます。

子供がどちらの足を先に出そうとしているのか、お子さまの歩幅や歩くスピード等にも注意をしてください。どちらに行きたいのか？子供が何を指さしているのか、どこを見ているのか、何に触っているのか等で注意深く観察してください。アップシーを使う事は、子供の何かをしたいと言う『やる気』を継続させる事が大切です。



上記の手順に沿って行う事で子供の不意な方向転換などで大人がバランスを崩す事は減るでしょう。子供が方向転換したり突然のスタートやストップをしそうな合図を感じ取りましょう。

アップシーを初めてご使用される際、まずは子供が好む動きをしてください。子供が最初に学ぶ認識能力のひとつは、原因と結果です。子供は見えるものに触るのが大好きです。家族やお友達といっしょにお試ください。

ここに、いくつかの例をあげますので、お子さまとお試ください。これは完全なリストではありません。ご両親はご自身の経験やセラピストといっしょに色々な動きを試してみてください。

- ダンス！
- 食器棚の扉を開け、鍋やフライパンを取り出す（または扉は大人が開けて、手で探させる。）
- 冷蔵庫のドアを開けたり閉めたり
- 玄関の鍵で遊ばせたり、開閉したり
- 兄弟姉妹と同じ目線で遊んだり
- 郵便受けから郵便物を取ったり



大また歩きや早歩きはしないでください。子供がケガをする恐れがあります。

- お掃除のお手伝いーテーブルを拭いたり掃除をしたり
- 電気スイッチをつけたり消したり
- 玄関でお客さんにご挨拶したり
- キャスターのついた玩具を押ししたり
- キャッチボールしたり
- バットでボールを打ったり
- 歌って踊ったり
- 黒板にお絵かきしたり

- お外でお散歩したりーはじめは、庭の端まで、門まで、小道に沿って歩くなど
- 体力がついてきたら、近所のお友達の家や、公園やビーチ、お買いものへ行こう！

子供が成長したり、自信がついてきたら、さらに他の動きを取り入れてみてください。ーその際は、担当セラピストに相談してみてください。

また、アップシーの使い方の詳細やヒントについては、「よくある質問」をご覧ください。

セクション 10: サイズ情報



安定性と安全性の為にサンダルのサイズはハーネスベルトのサイズに順じ自動的に決まります。詳細は www.fireflyfriends.com のFAQページをご覧ください。

- 幼児用サンダルは XSの子供用ベルトに付属します。
- 標準サイズサンダルは S～Lの子供用ベルトに付属します。
- 大人用サンダルは全て23.0 – 29.5cm に対応します。



上記サイズは目安としてお考えください。AFO、スプリント、ギプスなどの装具を使用している場合は、必要なサイズを調整する必要があります。

正しい採寸の仕方やコツは、ウェブサイトをご参照ください。 www.fireflyfriends.com

サイズ	XS (1-2 歳)	S (2-4 歳)	M (4-6 歳)	L (6-8 歳)
肩から股関節まで	28-32cm	31-36cm	35-39cm	38-42cm
胸囲	50-57cm	52-60cm	57-65cm	63-71cm
股関節下部まわり	50-57cm	52-60cm	58-67cm	64-73cm
耐荷重	15kg	15kg	20kg	25kg

靴サイズ	UK	US	Europe	日本
幼児用サンダル	3-7	3.5-7.5	19-24	11.5-15
標準サンダル	5-13	5.5-13	22-32	13.5-20
大人用	3-11	4-12	36-46	23-29.5

大人用ヒップベルト (1サイズ) 骨盤まわり 60cm – 107cm



胸囲



股関節下まわり



肩から股関節まで

セクション 11: 記号一覧表

記号	意味
	製造業者
	製品コード
	耐荷重
	シリアルナンバー
	使用上の注意を読む
	CEマーク
	UKCAマーク
	医療機器
	警告
	製造日
	ラテックス不使用
	一意の機器識別
	洗濯機 - 水温40°C
	漂白しないでください
	乾燥機 - 低温
	アイロン - 低温
	ドライクリーニングNG

セクション 12: よくある質問

セラピーとアップシー

1.1 他の移動補助器具と比較して、アップシーの利点は何ですか？

子供の能力にもよりますが、アップシーは他の移動補助具に比べて多くの利点を提供できます。子供の能力に応じて、下肢から体重を支えることができます。アップシーは、積極的な補助動作を可能にします。そのため、子供は最低限の介助を受けるだけで、自分の能力を最大限に発揮して立ったり歩いたりすることができます。

共通サンダルを通して、子供が足を踏み出そうとしているのを感じることができるため、必要に応じて踏み出しを補助することができます。アップシーは、家具に沿って横に移動するつたい歩きの可能性を提供します。

アップシーが提供するサポートは、股関節の外転（脚をはなす）、立位時の体幹筋肉の強化などの可能性を与えながら、子供の両手が自由に使えることを意味します。またそれが遊びの中でできるため、やる気を起こさせることができます。

そしてもちろん、臨床や開発の機会に加え、アップシーは軽量で簡単に持ち運び可能です。家族で参加することにより、親は子供が立つこと、足を踏み出すことを経験し、身体的な可能性を発揮できるように手助けすることができます。

1.2 アップシーの使用はセラピー、遊び、スポーツですか？

アップシーはその3つ全てを兼ね備えています！子供たちは、スポーツや家族活動に参加しながら、サポートされた立位と足を踏み出すことの治療効果を得ることができます。アップシーの屋内外での使用方法については、取扱説明書をご覧ください。

1.3 アップシーの使用時、子供は装具をつけたほうがよいですか？

はい、体重を支える活動のために、普段から履いているのであれば、つけた方が良いです。

- よくわからない場合は、理学療法のセッションでどの補装具が使用されているかを確認してください。下肢の場合、短下肢装具（AFO）は、膝が過伸展にロックバックする問題に対処するのに役立ちます。短下肢装具を装着しても膝が後ろに固定される場合は、アップシーを使用しながら、ごく緩やかな坂道を下るように立ってみます。これで膝が曲がりやすく（屈曲）なるはずですが、さらに、下肢装具も膝をまっすぐに保つのに役立ちます。

上半身は - 肘固定装具サポートは、肘をまっすぐに保ち、車輪付きおもちゃのハンドルを握りやすくなるかもしれません。

1.4 アップシーは理学療法の代わりとなりますか？

アップシーは理学療法に追加されるものです。子供が理学療法の日課を続けることが重要です。担当の理学療法士にアップシーを使用していることを伝えておくことをお勧めします。

また、アップシーを購入する前に、担当の理学療法士にアドバイスを求めるのもよいでしょう。

安全とアップシー

2.1 アップシーを使うと背中が痛いのですが、どうしたらいいですか？

アップシーの正しい使い方は、あなたやお子さまにとって不快なものであってはなりません。痛みを感じた場合は、アップシーの使用を中止してください。痛みが続く場合は、医師に相談してください。

アップシーを再使用する前に、以下を確認してください：

- a. 子供の身長が、あなたの身長に対して高すぎないことを確認してください。 - 詳しくは、使用説明書 セクション 9.1（評価と処方）をお読みください；
- b. 大人用ヒップベルトが腰の位置より高すぎないことを確認してください - ベルトが腰の低い位置にあることを確認してください - 使用説明書のセクション9.2（アップシーの装着）をお読みください；
- c. 子供を疲れさせ過ぎないこと。自分の体

重を支えることができなくなる可能性があります。 - 子供がベルトに吊るされるようになってはいけません。アップシーの使用は、子供が活動でき、直立体重負荷に参加できる時間に限定してください。

痛みがなくなるまでアップシーの使用を再開しないでください。上記の点を守っているのであれば、徐々に耐性をつけ始めることができます。

2.2 アップシーを使うと不安定な感じがします - 助けて！？

アップシーを使用する大人と比較して、子供の身長が安全な範囲内であることを確認してください。（セクション9.1 評価と処方 参照） - 子供の肩が大人のおへそより高くないようにしてください。大人のお腹で子供を前に押ししまい、子供がまっすぐ立てていない事はないか確認してください。もしそうなら、その大人の方は、アップシーの使用に適していません。

使い慣れた環境で短時間からアップシーを使い始め、経験を積んで自信をつけてください。足を大きく開いて立ち、普段より歩幅を広くし、誰かに付き添ってもらるか、廊下や壁がある環境を利用し、必要であれば追加のサポートを得て下さい。焦らず、ゆっくりと。

安定しないと感じたら、アップシーの使用を中止することをお勧めします。

2.3 年長の子供が、弟や妹と一緒にアップシーを使用できますか？

使用できません。本製品は、運動障害のあるお子さまをサポートするために大人が使用することのみを推奨します。

しかし、年長の子供たちは、身体を使ったゲーム、ダンス、ボール遊び、テーブルの上での共同遊びなど、弟や妹のやる気を引き出す重要な役割を担っています。

2.4 アップシーは段差や階段で使用できますか？

段差や階段でのアップシーの使用は、安全性に重大な問題があるためお勧めできません。

しかし、低い段差の上で1つおきに足を乗せて立たせることは、体幹と骨盤周りの筋活動（共収縮）を発達させることにつながります。- これはステップスタンディングと呼ばれ、体幹と股関節の安定性を向上させるために、低緊張の子供たちに有効です。

立ち方が左右非対称な場合は、弱い方の足を床につけ、もう片方の足を低い段の上に置いて、ステップスタンディングを試してみるとよいです。そうすることで、より弱い脚に目標を絞った活動ができるかもしれません。

アップシーの使用

3.1 アップシーを使うと、子供が興奮しすぎてしまいます。大丈夫でしょうか？

はい、大丈夫です！お子さまにとってはいいのですが、子供の予測不可能な動きによって大人がバランスを崩さないように注意する必要があります。子供が非常に興奮しやすく、活発な場合、歩行は控えて、壁やソファ、手すりなどの支えがある場所で、立位のみから始めてください。

子供が落ち着いてアップシーに慣れてきたら、一緒に歩いたり、車輪付きのおもちゃを押してみたり、音楽や歌に合わせて動いてみたりしてみましよう。

3.2 うちの子は立つのを怖がるんです。アップシーで怖がらなくなりますか？

子供が直立や歩行を怖がる場合は、ソファの前に立ったり、使い慣れた環境でアップシーを使ったりして、できるだけ安心感を与えてください。安心感を得るために、子供と密にコンタクトを取り、兄弟や姉妹と好きなゲームをしたり、好きなテレビ番組を見たりして、気を紛らわせましょう。お子さまが自信をつけるにつれて、より幅広い活動を行えるようになります。

3.3 アップシーの1回の使用時間はどのくらいですか？

アップシーを初めて使用するときは、子供の体重支持能力に応じて、約2～5分間立ってみてください。最初のセッションは短めにしましょう。子供がアップシーで楽しい気分になっていれば、立ったり歩いたりする新しい経験も受け入れやすいでしょう。子供がアップシーを着ることを楽しみ始め、あなた自身もより快適に過ご

せるようになれば、アップシーを使用する時間を増やすことができます。ご自身やお子さまが不快感を感じた場合は、アップシーの使用を中止してください。

3.4 アップシーは週に何回使用すればよいですか？

これは、あなたが何を達成したいかによります。お子さまの目的が、単に立ったり歩いたりする補助を体験することであるなら、ご本人がこれらの体位を楽しめる限り、アップシーを何度でも使用することができます。

子供がアップシーを使いながら立ったり歩いたりするスキルを発達させる可能性がある場合は、アップシーを使った毎日の習慣が役に立つかもしれません。

3.5 接続ストラップをどれくらいきつく引っ張ればよいのですか？

子供が体重を支える活動をできるだけ活発に行えるようにしながら、お二人の安全も確保するためには、お二人で行う「微調整」のプロセスが必要です。ヒップストラップとショルダーストラップの「微調整」には、以下のガイドラインをお勧めします：

骨盤コネクター（グレーのストラップ）：

骨盤ストラップは、子供が自分の体重の大部分を支えることができるようにしながら、子供の骨盤を最も高い位置に保つために必要な分だけ締めます。接続ストラップで子供の体重を支えることは想定されていません。適切な締め具合を見つけるには、鏡を使って子供の骨盤の位置を見下ろしながら、ストラップを少し緩めたり締めたりする必要があるかもしれません。歩き始めてから数分間の間に、ベストとストラ

ップがなじんでくるため、再度 接続ストラップを調整する必要があります。

3.6 アップシーで、どのような活動をすればよいですか？

多くの可能性があります。一般的な提案としては、以下のようなものがあります：

- ソファやローテーブルで立って遊ぶ
- ソファに沿って、つたい歩き
- 受動的な歩みから能動的な補助歩みへ
- 体幹・骨盤周りの活動を高めるためのステップ スタンディング（歩行と階段に関するFAQを参照）を行う
- キャスターのついた玩具を押す
- ボールゲーム、手遊び歌など

3.7 うちの子はアップシーに「ぶら下がる」だけです。どうしたら良いですか？

これは、子供が足で体重を支えていないことを示しています。これにはいくつかの理由が考えられます：

- a. まず、アップシーのベルトの留め具、脚のストラップ、接続ストラップのフィッティングをチェックし、子供の足をほぼまっすぐ支えるのに十分なサポートがあることを確認してください。子供の体幹をまっすぐ支えるためにストップを十分に締め付ける必要がありますが、子供が吊られてしまうほど締め付ける必要はありません。
- b. 子供が疲れている。アップシーを取り外して、休ませてください。
- c. 子供がまだ足で体重を支えることができません。彼らの立位耐性を育て始めることができますので、さらに詳しいガイドンスについては、「我が子の発達とアップシー」のセクションを参照してください。
- d. 体重を支えることができますが、今はやる気がない。子供の活動意欲を刺激するような適切なアクティビティを探してみてください。

3.8 私の子供は、アップシーで上半身が前傾してしまいます。どうしてですか？

子供が前傾姿勢になっている場合は、何かが適切に調整されていません。

可能性は4つあります：

- a. ショルダーストラップの微調整が必要 - セクション9.2 を参照

b. ベルトが子供の体幹にぴったりとフィットしていない。特に骨盤ストラップ（ベスト下部）に注意すること。

c. 子供の足がサンダルの中にしっかり固定されていない。 - ストラップを締め直してください。

d. 子供と一緒にアップシーを楽しむために、大人がうまく合っていない。大人のお腹で子供を前に押し出しているか、子供の肩がおへそより高く、ヒップベルトで子供の肩をうまく支えることができていない。いずれの場合も、子供と一緒にアップシーを使用することはできません。子供と一緒にアップシーを楽しむのに適した別の大人を見つけないという選択肢もあります。

3.9 私の子供はアップシーで歩きたがりません。どうしたら良いですか？

子供が快適であることを確認し、必要に応じてアップシーを調整してください。不快な症状が続くようであれば、使用を中止してください。アップシーの使用は、慣れ親しんだ環境で立つて遊ぶときだけにして、アップシーを使用中の活動が楽しくなるようにしてください。

例：お気に入りのおもちゃ、音楽ゲーム、友達や兄弟。子供のペースに合わせて、アップシーで無理に動かさないこと。しばらくしてから、もう一度試してみる - そのうちコツをつかむでしょう。

3.10 アップシーが、子供の障がいによって不本意な注目を集めることはありませんか？

これは非常にデリケートな質問であり、答えるのは難しいです。一部のご両親は、子供用ベルトはおしゃれなベストのように見えるし、共通サンダルも目立たないので、お子さまがアップシーを使用していることがすぐに分からないとおっしゃいます。しかし、彼らにとってより重要なのは、アップシーの使用は家族参加の機会であり、他のすべてにはるかに勝るものだと感じている事です。アップシーを使うことで注目を集めるかもしれませんが、それは必ず前向きで勇気づけられるものです。とは言いましても、あなたにとって好ましくない場合、アップシーは自宅の庭や裏庭など、プライバシーが守られた場所でも同じように使うことができます。

我が子の発達とアップシー

4.1 私は、自分の子供が自力で立つことを願っています。アップシーを使うことは有効ですか？

アップシーには、子供の立位能力を向上させる可能性があります。子供が上達する可能性がある場合、アップシーでは、脚を使って体重を支え、自ら足を踏み出すことができますようになります。

脚で体重を支える力が弱い子供でも、アップシーで立つことを経験することができます。あいにく子供たちの可能性は一人ひとり異なるため、私たちはお子さまが達成することを予測することはできません。

4.2 アップシーの使用することで、私の子供にどのような進歩がみられますか？

一般的に、立ったり歩いたりする活動に、子供

がより積極的に関わるようになったとき進歩があったと言えるでしょう。子供が体重を支え始めたり、足を踏み出したりするようになったら、アップシーのサポートレベルを調節して子供自身の能力を発揮できるようにします。再び子供が率先して足を踏み出せるようにすることが大切です。

接続ストラップを緩めすぎないように注意してください - 子供がアップシーの中で揺れ、不安定になる可能性があります。進歩の度合いは子供によって異なります - 他の子より早く上達する子もいます。すべての子供が、親と一緒に動的に立つという経験から恩恵を受けるということ、そしてそれが、子供の今の発達段階における最大限の可能性なのかもしれないということ、覚えておく事はとても重要です。

4.3 うちの子は自分から足を踏み出そうとしません。アップシーを使うことは有効ですか？

アップシーは、子供が受動的に足を踏み出し、動く経験を積む機会を提供します。それだけでも価値のある目標である子供もいれば、積極的に脚で体重を支えるようになり、歩行を達成できる可能性のある子供もいます。

接続ストラップを緩めすぎないように注意してください - 子供がアップシーの中で揺れ、不安定になる可能性があります。進歩の度合いは子供によって異なります - 他の子より早く上達する子もいます。

すべての子供は、親と一緒に動的に立つという経験から恩恵を受けるということ、そしてそれが、子供の今の発達段階における最大限の可能性なのかもしれないということ、覚えておくことはとても重要です。

4.4 私の子供は、脚の筋緊張がかなり高いです。彼はアップシーを使えますか？

あいにくアップシーは、筋緊張の異常が非常に強く、脚が硬直して、動かすのに非常に抵抗があるようなお子さまには使用できません。軽度または中等度の筋緊張があり、足首、膝、股関節を、歩行時に使用する可動域で動かせるお子さまは、アップシーが適しているかもしれません。立って左右に揺らしたり、前後に揺らしたりしながら一步一步踏み出すことで、子供の脚の筋肉の緊張を和らげる可能性があります。

4.5 私の子供は左右非対称です。彼はアップシーを使えますか？

左右の非対称性の程度にかかわらず、患側の筋緊張異常の程度が硬直的でなく、運動に対する抵抗が強くなければ、アップシーの使用は有益です。（質問4.4も参照）患側は、立位をとるのに十分な脚の可動域が必要です。立位をとったら、患側への横移動をすると、患側が伸び、筋緊張が軽減します。全身の筋緊張が高い子供については、立ったまま左右に揺らすと、異常な筋緊張を軽減できる可能性があります。

脚長差が小さいお子さまであれば、普通の靴でもアップシーを効果的に使用できるはずですが。ただし、理学療法士に確認することをお勧めします。また、立位や歩行動作のために普段から補高加工の靴などを着用している場合は、アップシーの使用中也そうしてください。

4.6 うちの子は頭のコントロールが弱いです。彼女はアップシーを使えますか？

アップシーを使用すると、立った姿勢で首を積極的に伸ばし、頭を持ち上げることができるため、子供が頭のコントロールを発達させる可

能性があります。さらに頭を持ち上げるように、子供の肩を少し後ろに動かしてみてください。

立った姿勢から、遊びの中で上向きの視線を誘導し、頭を持ち上げるように促します。子供の両腕を持ち上げて遊ぶか、肩の高さにある何かの物体などで休ませることで、頭を持ち上げやすくすることができます。また、肩の高さにある大きな鏡に、手のひらを平らにし、肘をまっすぐに伸ばした子供の手を当てて、自分の姿が見えるようにしてみるのもよいです。

子供が上記の方法で頭を持ち上げることができない場合は、アップシーで立ったまま周囲を見渡せるよう、子供の頭を持ち上げてあげるとよいでしょう。首を伸ばし過ぎるのではなく、まっすぐ長い首にするために、片方の手で子供の頭の上部を支え、もう片方の手であごのあたりを支えるようにしましょう。

4.7 私の子供には視覚障害があります。彼はアップシーを使えますか？

はい。アップシーは、視覚障がいのある子供たちが安全に立ち上がり、足を踏み出すための手段を提供します。あなたの子供との密接なつながりは、お子さまに安心感と安全感を与えます。子供を安全に足で誘導し、両手を自由に使って一緒に環境を探求することで、子供の感覚や知覚の発達を促すことができます。



Fireflyfriends Ltd
19c Ballinderry Road
Lisburn BT28 2SA
Northern Ireland

T: (+44) 28 9267 8879
E: hello@fireflyfriends.com

fireflyfriends.com

サンライズ メディカル ジャパン 株式会社
〒349-1145 埼玉県加須市間口456番地1
TEL : 0480-31-6480
お問い合わせ : info@sunrisemedical.jp



<https://sunrisemedical.jp/>

